

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年9月13日 (2018.9.13)

【公開番号】特開2017-113460(P2017-113460A)

【公開日】平成29年6月29日 (2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2017-024

【出願番号】特願2015-254881(P2015-254881)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/32 (2006.01)

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/32 5 1 0

A 6 1 B 18/12

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月2日 (2018.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハンドピースと、

前記ハンドピースに対して相対的に移動することにより、被検体を処置する処置部に駆動伝達するパイポラ処置具用の導電材料からなる 2 本の駆動部材と、

前記ハンドピース内に配置され、前記駆動部材に押圧力を与える切片を有するコネクタと、

を備え、

前記駆動部材が第 1 の導電部をなし、前記コネクタの前記切片上には、前記第 1 の導電部と当接して、前記駆動部材と前記ハンドピースとを電氣的に接続する第 2 の導電部が形成され、

前記コネクタの前記第 2 の導電部は、三次元回路をなす成形回路部品であり、

前記コネクタは、並列される前記 2 本の駆動部材を、前記 2 本の駆動部材の内側から外側に押圧するよう前記切片が配置されることを特徴とする手術器具。

【請求項 2】

前記第 2 の導電部と電氣的に接続する第 3 の導電部を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の手術器具。

【請求項 3】

前記コネクタは、曲げ弾性率が 1000MPa 以上 5000MPa 以下の樹脂から形成されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の手術器具。

【請求項 4】

前記コネクタは、降伏ひずみが 3 % 以上の樹脂から形成されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の手術器具。

【請求項 5】

パイポラ処置具用のコネクタであって、

2 本の導電材料からなる駆動部材を、前記 2 本の駆動部材の内側から外側に押圧する切片と、

前記切片に設けられ、前記第 1 の導電部をなす前記 2 本の駆動部材に当接して電氣的に

接続する第２の導電部と、  
を備え、

前記第２の導電部が三次元回路をなす成形回路部品であることを特徴とするコネクタ。

【手続補正２】

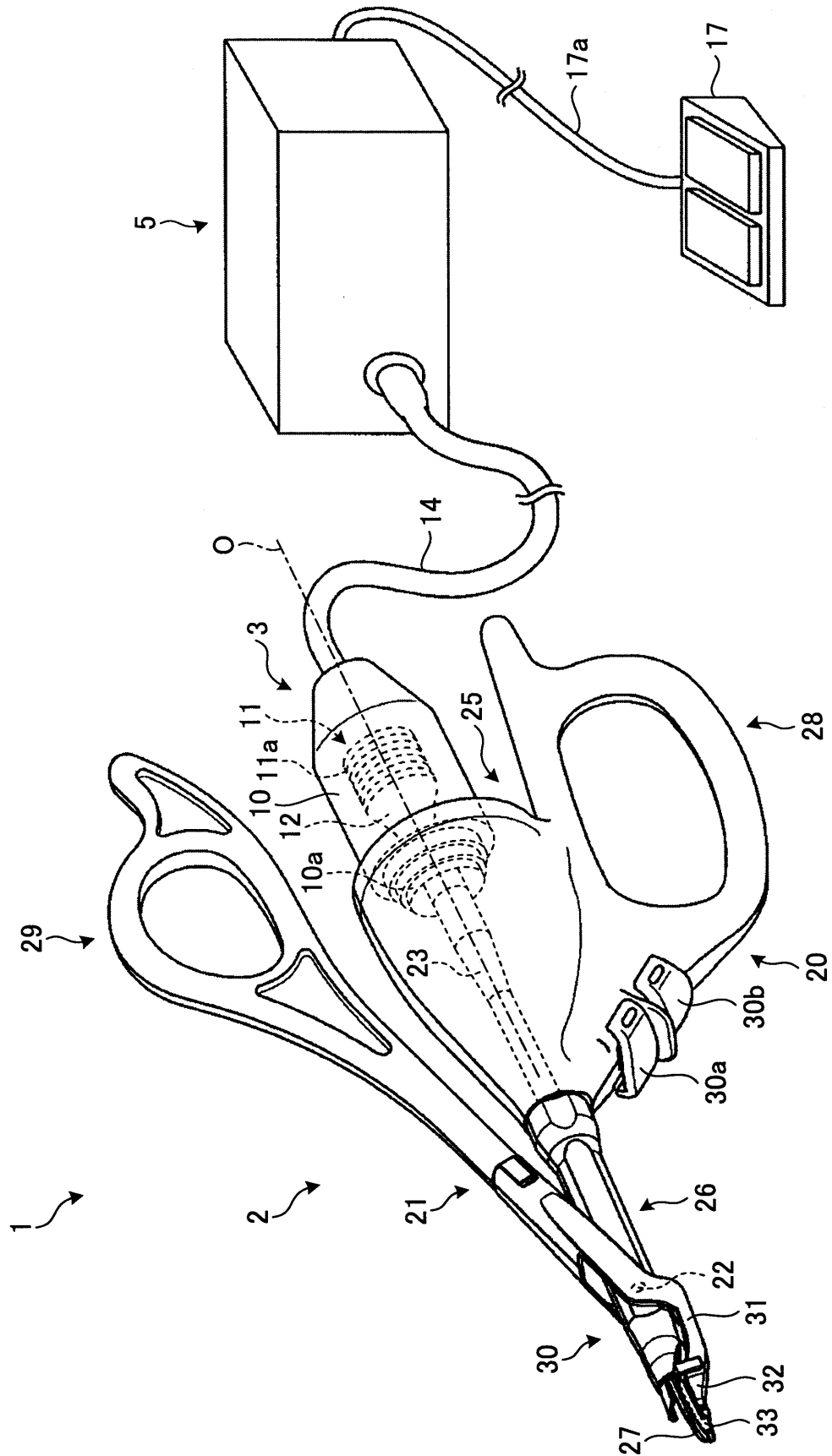
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】



【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面  
【補正対象項目名】図 7 B  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【図 7 B】

